



## 充実の前期終了

本日をもって前期が終了しました。4月からの半年で、学習や行事、部活動等を通して、生徒一人一人が大きく成長しました。また、学年が上がるにつれ、学級や学年の絆が深まり、集団としての成長も感じられます。特に先週末に開催した南中祭では、3年生の明るさ、たくましさ、温かさに触発され、学校全体が一つになっていると感じる場面がたくさんありました。

大きな事故もなく、無事に前期の終業式を迎えることができることを職員一同大変うれしく思っております。保護者及び地域の皆様の温かいご指導、ご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

後期もどうぞよろしくお願いいたします。

### 前期終業式 校長あいさつ

今日で令和5年度、前期が終了します。全校生徒の皆さん、大変ご苦勞様でした。

前期の主な行事として、春季大会や修学旅行、運動会、地区総体や全県総体、東北、全国大会、各種コンクール等々ありましたが、今日は、前期の節目として、全校で創り上げた先週の南中祭を振り返ってみたいと思います。

今年の南中祭には、保護者や地域の方は約430名ほどいらっしゃいました。ステージで発表した生徒は、700人以上の観客の前でパフォーマンスしたことになります。スポットライトを浴びながらパフォーマンスした生徒の皆さんは、どんな感想を持っているのでしょうか。

開祭式のオープニングビデオは、先生は驚きでした。「逃走中」のテレビ番組からヒントを得た内容だったと思います。ビデオと南中祭当日の場面がリンクしており、観客の目を釘付けにしたと思います。生徒会総務や他の有志の演技だけでなく、職員室からサングラスをかけた先生の登場に場内は爆笑し、シナリオも見事だったと思います。

「総合的な学習の時間」の発表や科学部、英語暗唱・弁論の発表者は、緊張したと思います。しかし、発表者の皆さんは、非常に落ち着いており、先生は安心して見ることができました。有志発表や吹奏楽演奏では、これまでの練習の成果が十二分に発揮され、体育館全体が拍手とエールに包まれ、ジャンボリーミッキーのテーマソングでは、生徒だけでなくお客さんも一緒になって踊ってくれました。観客の皆さんも南中生の勢いにのまれ、一緒に踊って楽しんでいました。演劇は、役者揃いで、アドリブを含め長い台詞をよく覚えたなあと感じました。また、それに負けずおとらず、役者の立ち位置や場面の紹介、効果音など、細かいところに配慮してくれた裏方の皆さんの頑張りも素晴らしく、今年の演劇は質が高いと感じました。

この他にも、びっくり市や緑日のイベント、展示、報道・装飾、環境部門など、一人が何役もの仕事を引き受けながら、お披露目できた南中祭だったと思います。藤嶋生徒会長をはじめとして、生徒会総務の企画力や全校生徒の表現力・協調性等にあらためて拍手を送りたいと思います。素晴らしい学校祭をありがとうございました。

ところで、皆さんの中には「あきらめたらそこで試合終了ですよ」とか「努力もせず、自分で勝手に限界をつくるな」などという言葉はどこかで聞いたことがあるのではないかと思います。先生は、1年生から3年生まで含め、君たちの力はこんなもんじゃないと思っています。なぜなら、本荘南中学校は、由利地区の中では、生徒数も多いし、勉強でも部活動、クラブ活動でも切磋琢磨している昔から注目されている学校です。また、南中の先輩たちは高校でも素晴らしい活躍をしているし、その先輩たちの背中を見てきた君たちは、自分や仲間の潜在能力を引き出しながら今回の学校祭を創り上げてきました。でも、一人一人を見ると、まだまだ伸びしろがあるのに、自分の限界に挑戦しないで、楽な方に流されてしまっている人が多くいる

ように思います。

2、3年生の学力は、昨年度の秋田県の学習状況調査でも県平均や由利本荘市の平均を上回っています。これは普段の授業において、先生方の指導のもと、各学級が自分や仲間の考えを尊重しながら真剣に教え合いお互いを鍛え合っているからだと思います。しかし、1年生を含め、分かっているのに発表しなかったり分からないところを教えてもらおうと自分から行動しなかったりなど、まだまだ努力すべき点があると感じます。今後は、さらに上を目指すため、学級内で自分の考えを堂々と発表したり教え合ったりする場面の質を高めて、特に3年生は自分の進路実現のためにも、レベルの高い問題にも積極的に挑戦しながら自分や仲間の学力向上につなげてほしいと思います。

部活動では、1、2年生とも普段の練習は頑張っていると思いますが、今後、準決勝や決勝などで勝ち上がっていくため、来年度の総体で全県大会に出場するためには、チームの中に進んで行動できる選手が一人でも多くいると、チーム力は高まり、全県でも上位に勝ち上がっていくと思います。秋季大会の応援に行きましたが、自分や仲間がミスしたときに、それを挽回しようとする強い気持ちやチームを奮い立たせようとする姿勢が足りないと感じました。また、毎日の練習や練習試合等で、どれだけ本番を意識して練習してきたのか疑問に思っていました。本番で想定される様々なチャンスをどのようにモノにし、ピンチをどう切り抜けるか、その練習の積み重ねは、自分や仲間に自信をもたせ、強いチームへと成長させます。

逆に、何でも指示待ちだったり、文句ばかり言ったりしているのであれば、チームはいつまで経っても強くならないし、そんな人は人間的に腐ってしまいます。学級でもチームでもリーダー任せするのではなく、学校祭のようにみんなが当たり前のことは当たり前に行動（凡事徹底）し、次を予測して率先して行動（率先垂範）し、間違っていれば、それは違うと言える、あるいは「こうしよう」と言える仲間が増えれば増えるほど、南中の総合力は高まります。総合力が高まるには、少し時間がかかるかもしれませんが、繰り返し挑戦することで自分の能力に気付いたり、仲間から気付かされたりして人間的に大きく成長していきます。

終わりに、このあと学級で配付される通知表の表紙には、南中生に身に付けてほしい力が3つ示されています。1つ目、「様々なことに挑戦し自分の可能性を広げる力」、2つ目、「人と関わりながら学び続ける力」、3つ目、「よりよい生き方を追求する力」です。

来週から後期が始まります。後期は3つの力を意識して様々なことに果敢に挑戦し、さらなる自分の成長、学級の成長、チームの成長につなげる南中生になることを期待して、終業式のあいさつとします。

## 南中祭 大成功

9月30日(土)に、「笑顔満祭～この一瞬の一時でつくる一生の思い出～」のテーマもと、南中祭を開催しました。南中祭のねらいは、生徒会を中心に学年・学級の枠を超えて、それぞれの部門活動に全校一丸となって取り組み、その活動の中で生徒一人一人の成長を促すことです。今年は来場制限なく実施できましたので、全校生徒とご来場者の皆様が一体となって盛り上がる場面がたくさんありました。ねらいを達成した南中生の姿を多くの皆様にご覧いただくことができ、大変うれしく思っております。

ステージ発表への温かいご声援やびっくり市・ユニセフ募金へのご協力に心より感謝申し上げます。

○びっくり市売上 28,318円

○ユニセフ募金 33,230円

ありがとうございました。

